

いわきトレセン U-14 監督 高木 喬

この度は、歴史あるコミュニティーワールドカップ in 八千代にご招待いただき誠にありがとうございます。

3.11 東日本を襲った大地震、それによる大津波の被害は、今まで経験した事のない未曾有の大災害となってしまいました。

福島県は、更に輪をかけて原発事故という大きな被害を受けています。

私たちのいわき市は、津波により沿岸部は甚大な被害を受け、さらに街が復旧に向けて動き出した1ヶ月後、2日連続で大きな余震に襲われ、被害を大きくさせてしまいました。

震災後、市内唯一の芝生の球技場は、震災派遣の自衛隊の拠点となり、ほとんどの市民グラウンドは、震災瓦礫置き場と化し、サッカーが出来る環境ではありませんでした。

そんな中でも少しずつ出来るところから環境を整え、子どもたちにサッカーをする機会を与えようと、協会、地域の皆様の協力のもと市内での練習や大会が開催されるようになってきています。

このような状況の中、本大会にお誘いいただき、選手はもとより、私たちスタッフも大変喜んでおります。選手たちには、この大会を通じ、思い切りサッカーを楽しみ、参加されるチームとの交流を図り、たくさんのごことを吸収してほしいと願っています。

また本大会に参加するに当たり、このような素晴らしい機会を与えてくださいました全ての皆様にリスペクトの気持ちを持って、「がんばっぺ！いわき」の精神で臨みたいと思います。

最後に、八千代市サッカー協会、八千代市の皆様、その他本大会を支えてくださる全ての方々に感謝いたします。

12月、皆様にお会いすることを楽しみにしています。